

[要点]

- (1) イギリスでは、18世紀後半、インドの綿製品に対抗するために紡績機などの改良が行われていたが、ワットが改良した蒸気機関じょうききかんによって生産方式が一変し、工場制手工業こうじょうせいぎかいにうぎようから工場制機械工業こうじょうせいぎかいにうぎようにかわった。これを産業革命という。
- (2) こうして資本主義しほんしゆぎが成立したが、労働者は労働組合をつくって資本家に対抗した。

[A問題：要点確認]

- (1) イギリスでは、18世紀後半、インドの綿製品に対抗するために紡績機などの改良が行われていたが、()が改良した蒸気機関じょうききかんによって生産方式が一変し、工場制手工業から工場制機械工業にかわった。これを()革命という。
- (2) イギリスでは、()世紀後半、インドの綿製品に対抗するために紡績機ぼうせんきなどの改良が行われていたが、ワットが改良した()機関によって生産方式が一変し、工場制手工業から()工業にかわった。これを産業革命さんぎょうかくめいという。
- (3) こうして()主義が成立したが、労働者は労働組合をつくって資本家しほんかに対抗した。
- (4) こうして資本主義しほんしゆぎが成立したが、労働者は()をつくって資本家しほんかに対抗した。

[B問題]

- (1) 18世紀に機械の発明や改良により工場制機械工業こうじょうせいぎかいにうぎようが始まり、今までの社会のしくみが一変していく。このことを何というか。またこの変革が最初におこったのは何という国か。
- (2) 産業革命さんぎょうかくめいがおこったのはいつ頃か。
- (3) 産業革命さんぎょうかくめいによって、生産の仕組みが(A)工業から(B)工業になった。
- (4) 蒸気機関じょうききかんを改良した人は誰か。
- (5) 資本家しほんかが労働者を使って、利益を目的に商品を生産することを何というか。
- (6) 労働者は苦しい労働条件を自ら改善しようとして(A)を結成し、(B)のような方法で資本家しほんかに対抗していった。

- [解答] (1) 産業革命さんぎょうかくめい イギリス (2) 18世紀後半 (3) A 工場制手 B 工場制機械 (4) ワット (5) 資本主義しほんしゆぎ (6) A 労働組合 B ストライキ

[C問題]

- (1) イギリスではインドからの(A)織物の輸入が増え、国内の業者はインド製品と競争できるもっと(B)く(C)に生産する方法を求めた。この結果、さまざまな機械が発明・改良されていった。(D)は蒸気機関を改良し、産業革命を加速させた。蒸気船を実用化したのは(E)であり、蒸気機関車を発明したのは(F)である。
- (2) 産業革命で、生産力を飛躍的に高めた動力は何か。

[解答] (1)A 綿, B 安 C 大量, D ワット E フルトン F スチープンソン (2)蒸気機関